

第20期（2018年3月期） 第2四半期決算のご説明

2017/11/9



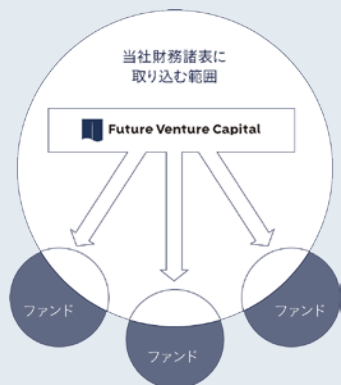
Future Venture Capital

当社では、当社の経営成績及び財務状態をよりの確に表すため、第19期までは投資事業組合の当社持分のみを連結した個別財務数値を記載してまいりましたが、投資事業組合の運営方針を見直し、**2016年12月31日付けで投資事業組合の大部分を連結の範囲から除外しております。**

一部を除いた投資事業組合において当社持分のみが連結されており、子会社の業績も反映していることから、第20期より連結財務数値を記載しております。

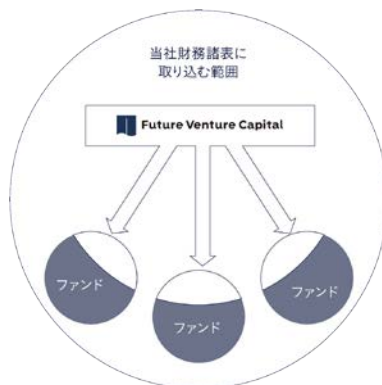
～19期

個別



当社の持分の割合のみ取り込み

連結

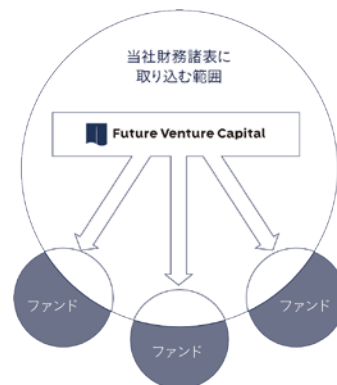


当社の持分の割合にかかわらず
ファンドを全て取り込む



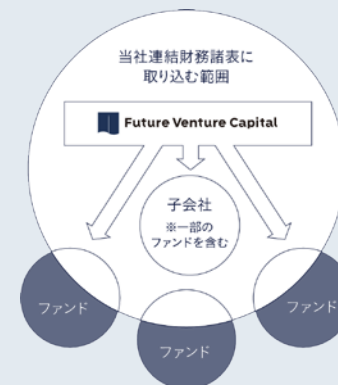
20期

個別



当社の持分の割合のみ取り込み

連結



子会社及び一部を除いた
ファンドにおいて当社の
持分の割合のみ取り込む

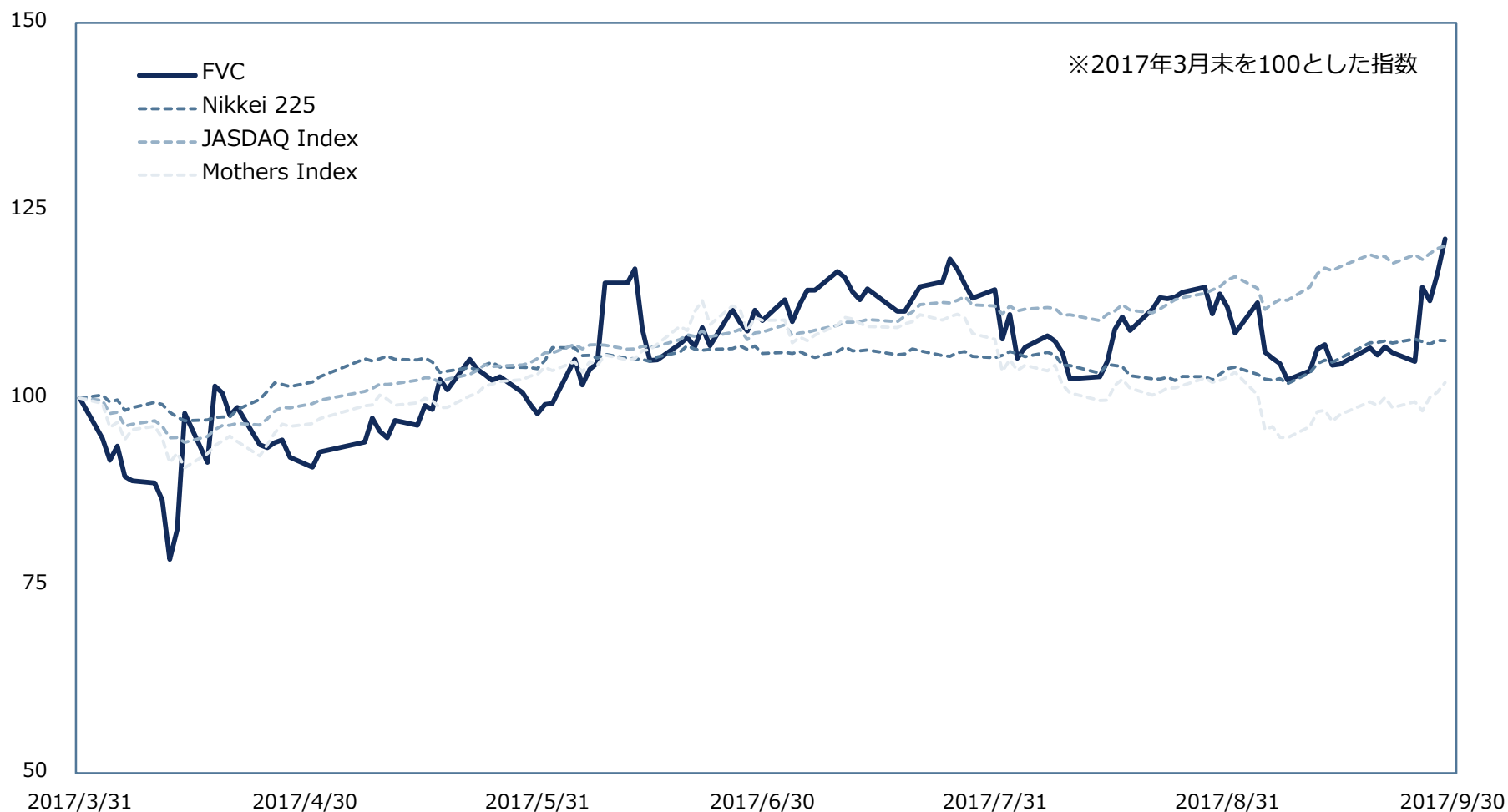
投資事業組合の運用総額に占める当社持分の割合22.9%

1. 市場環境	・ ・ ・ ・ P.04
2. 決算説明	・ ・ ・ ・ P.09
3. 主な取り組み	・ ・ ・ ・ P.19

市場環境

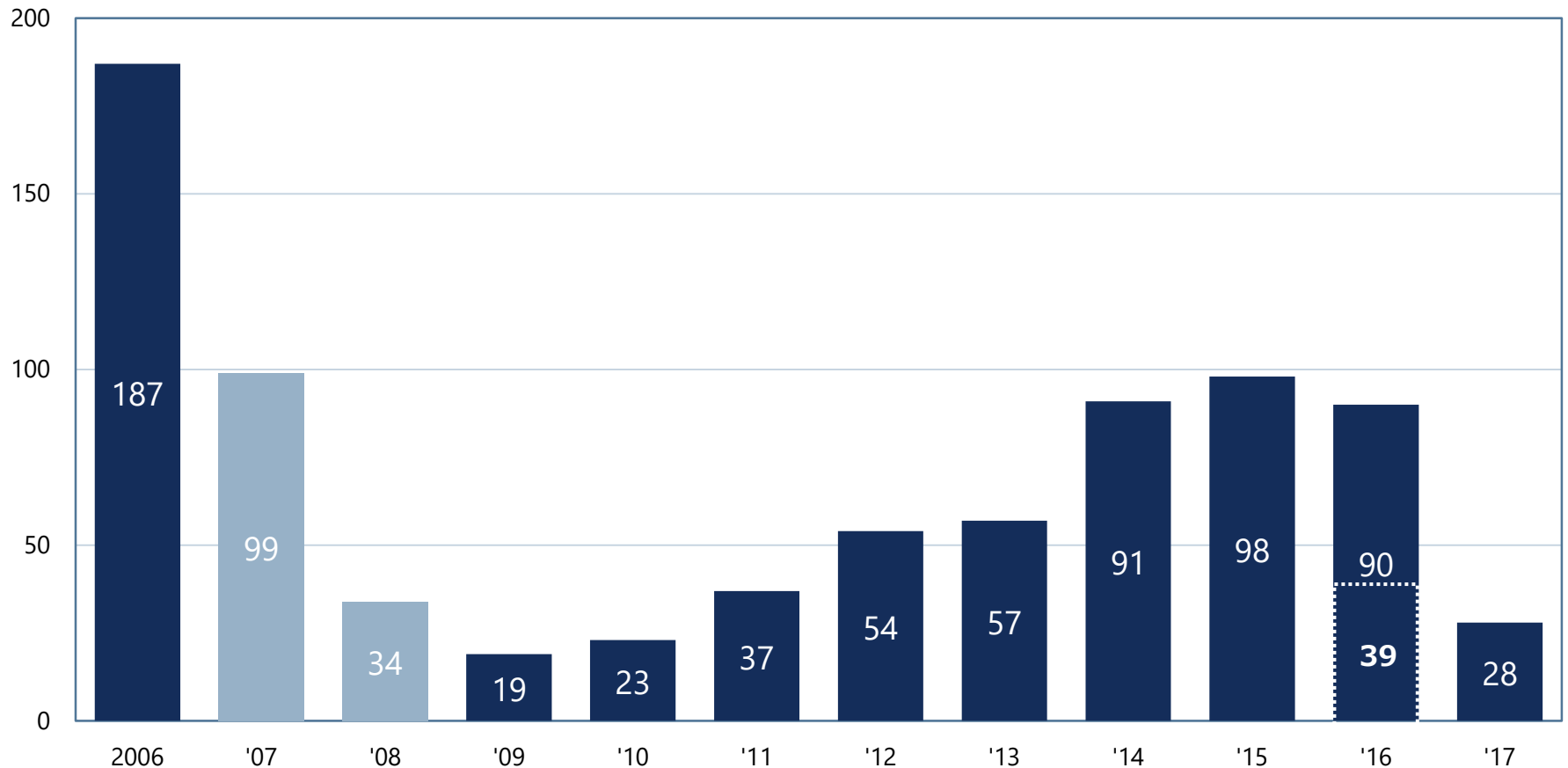


当社株価は株式市況に応じて変動



1.2. 新規上場市場の状況【新規上場社数】

28社が上場し、前年同期の39社から11社減。
2009年から新規上場は増加傾向にあったが、2015年をピークに減少に転じている。



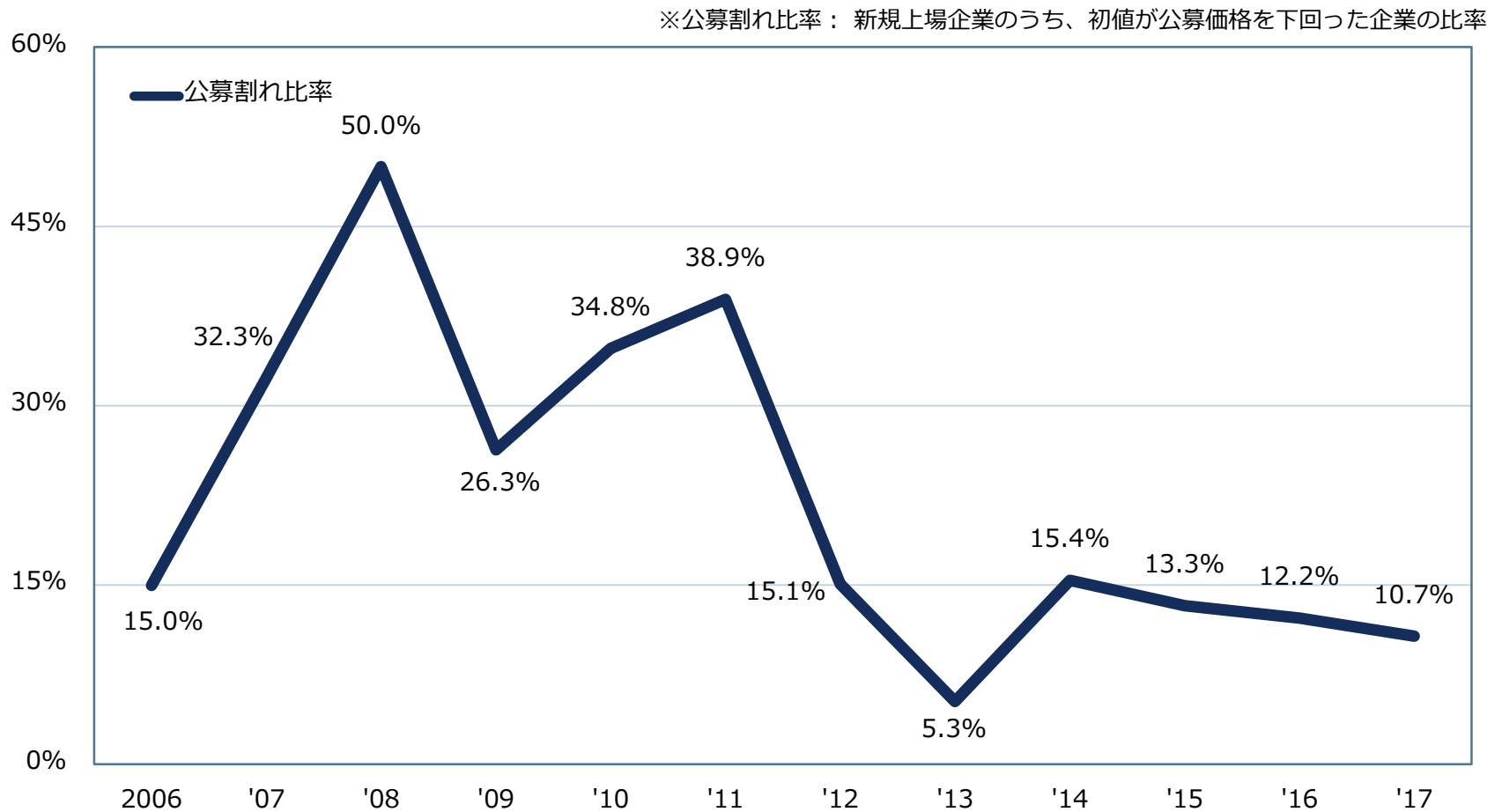
1.3. 新規上場市場の状況【平均初値騰落率】

上場した28社のうち、初値騰落率100%超えが16社で、
初値は高水準で推移している。

※初値騰落率： $\{ (\text{初値} - \text{公募価格}) / \text{公募価格} \} \times 100 (\%)$



2012年以降、初値が公募価格を下回るケースは限定的。



決算説明



当第2四半期連結累計期間より、ベンチャーキャピタル事業と コワーキング事業に区分

ベンチャーキャピタル事業

- ✓ ベンチャーキャピタル業務
- ✓ ファンドの企画・運営
- ✓ 未上場企業への投資業務
- ✓ コンサルティング業務



コワーキング事業

- ✓ コワーキングブランド「FVC Mesh」の運営



2.2.決算概要

単位：百万円	第19期（連結）	第20期（連結）		第19期（連結）	第20期（個別参考数値）
	2Q (2016/4～2016/9)	2Q (2017/4～2017/9)	対前年同期比	通期 (2016/4～2017/3)	2Q (2017/4～2017/9)
売上高合計	260	465	205	365	306
ベンチャーキャピタル事業	260	431	171	365	283
コワーキング事業	—	33	33	—	23
セグメント損益合計	△344	190	534	△650	116
ベンチャーキャピタル事業	△344	254	598	△650	110
コワーキング事業	—	△64	△64	—	5
全社費用	—	△157	△157	—	△106
営業損益	△344	33	377	△650	10
経常損益	△361	34	395	△686	21
特別利益	—	232(※2)	232	—	0
特別損失	—	74(※3)	74	35(※4)	—
親会社株主に帰属する当期純損益(※1)	△229	56	285	△491	19
純資産	2,973	3,563	590	3,431	3,240
総資産	3,514	3,787	273	3,584	3,368
自己資本比率	15.6%	85.6%	70%	88.8%	96.2%

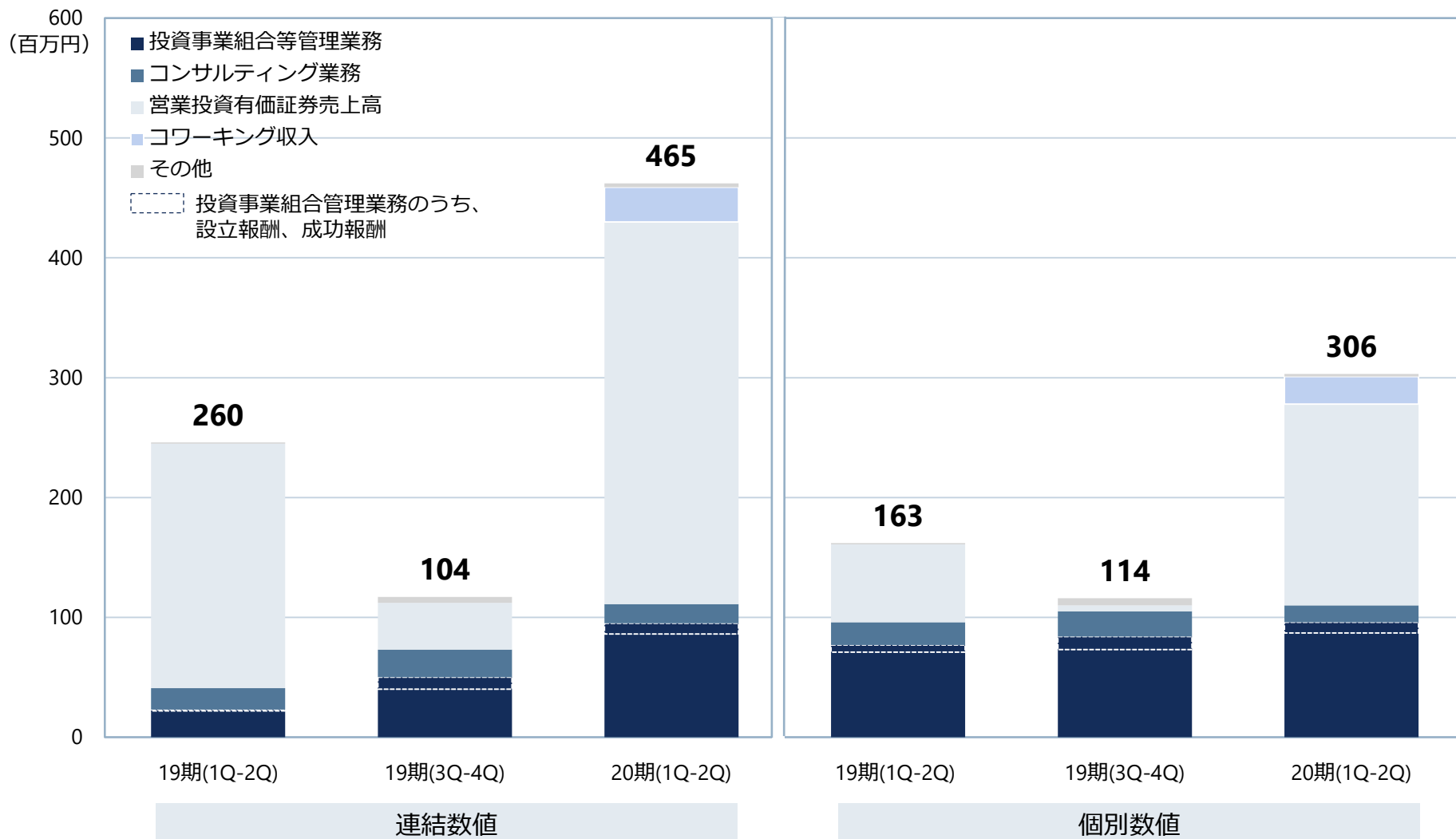
※1 個別数値は当期純利益を記載

※2 株式会社All Nippon Entertainment Worksの株式取得に伴う負ののれん発生益

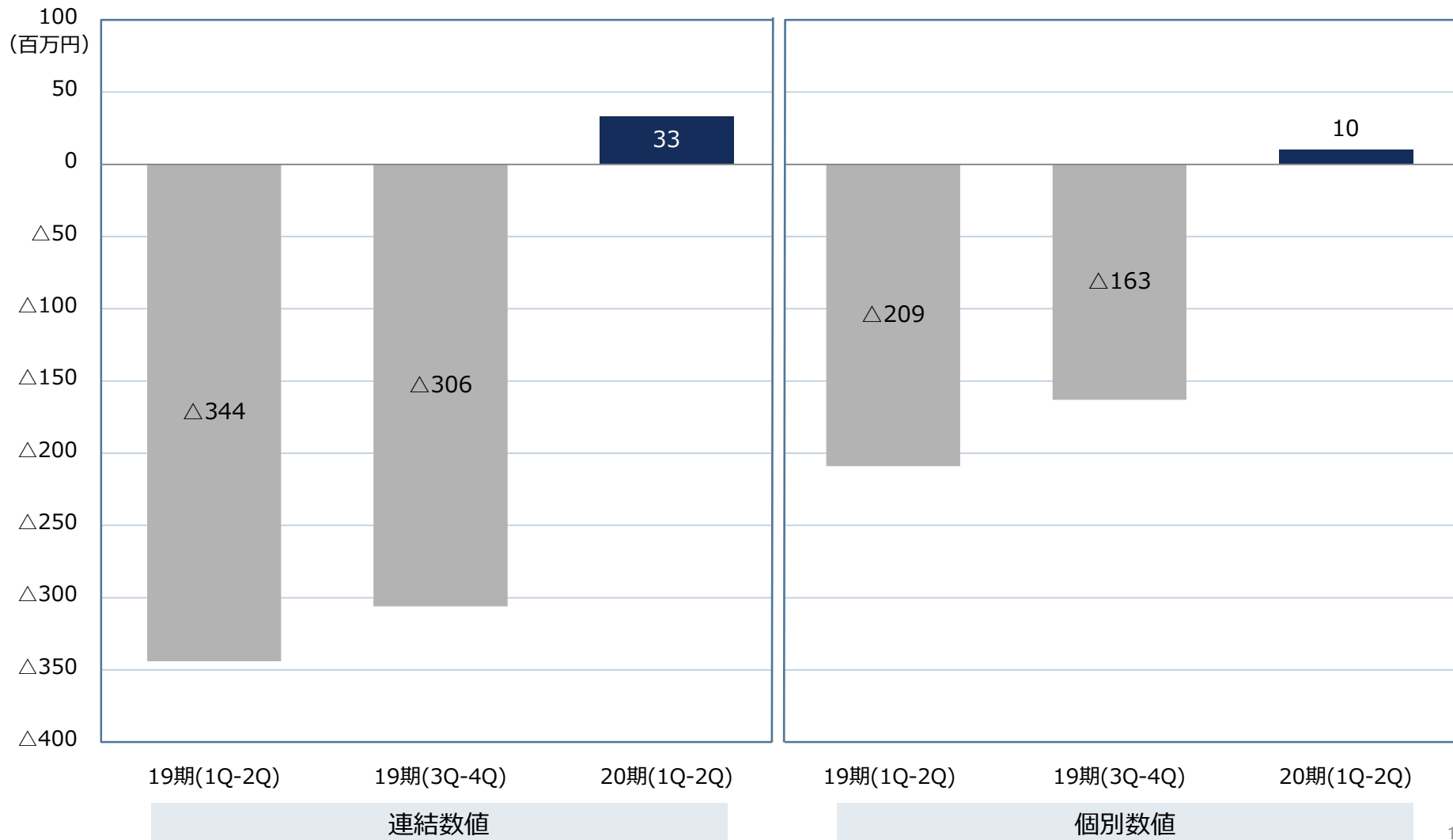
※3 主に米国コワーキング施設の撤退に伴う特別損失

※4 連結子会社に対するのれんの減損損失

未上場企業の営業投資有価証券の売却により、売上高は増収



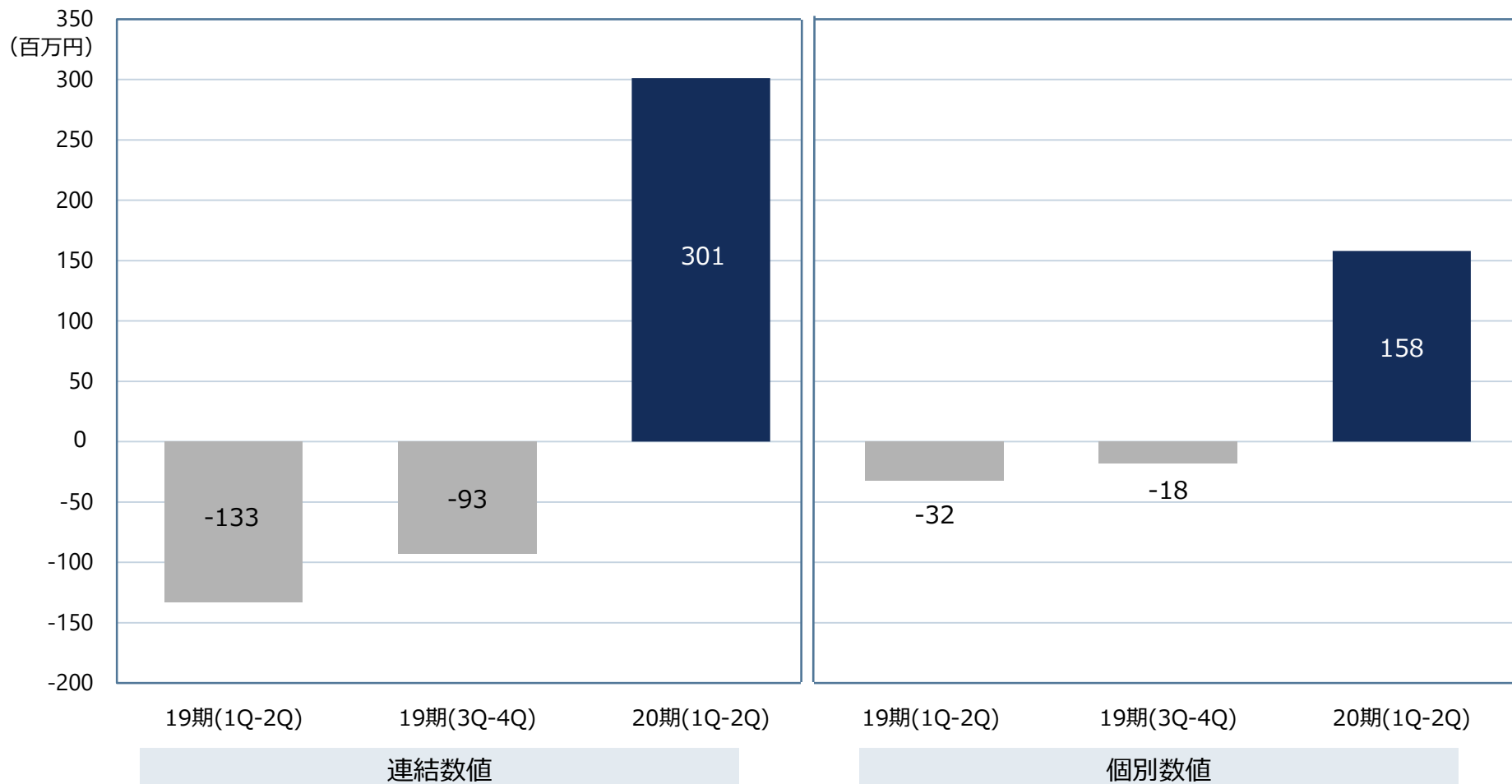
営業投資有価証券の売却益により、営業黒字



2.5.営業投資有価証券にかかる損益

マイナス幅が大幅に縮小し、黒字転換

※ 営業投資有価証券にかかる損益 = 営業投資有価証券売却高 - 売却原価 - 売却にかかる投資損失引当金戻入額 - 減損等
+ 減損等にかかる投資損失引当金戻入額 - 投資損失引当金繰入額



株式会社ZMPの株式を一部売却

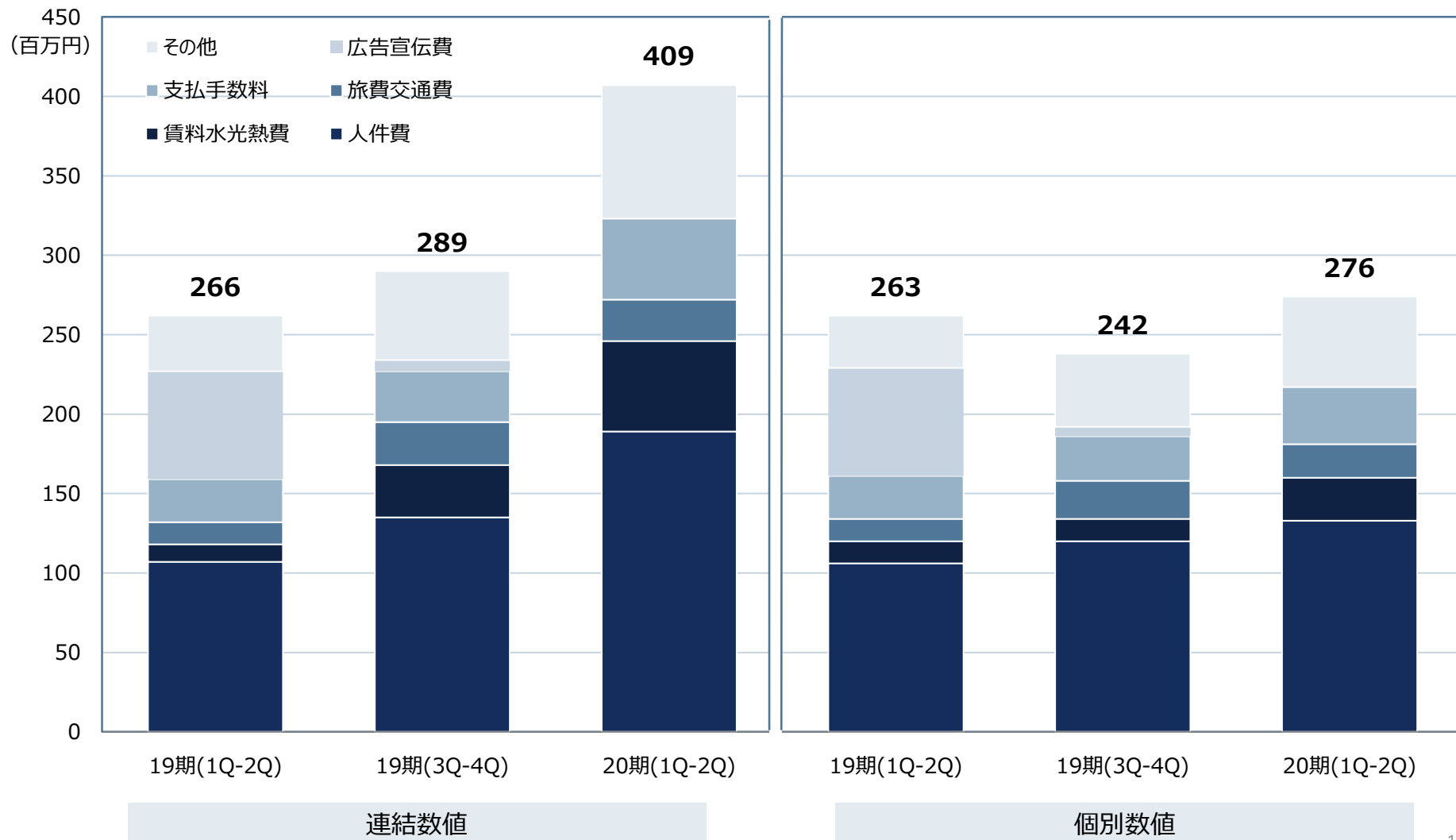
FVCグロース二号ファンド(当社出資比率52.6%)より48百万円の投資



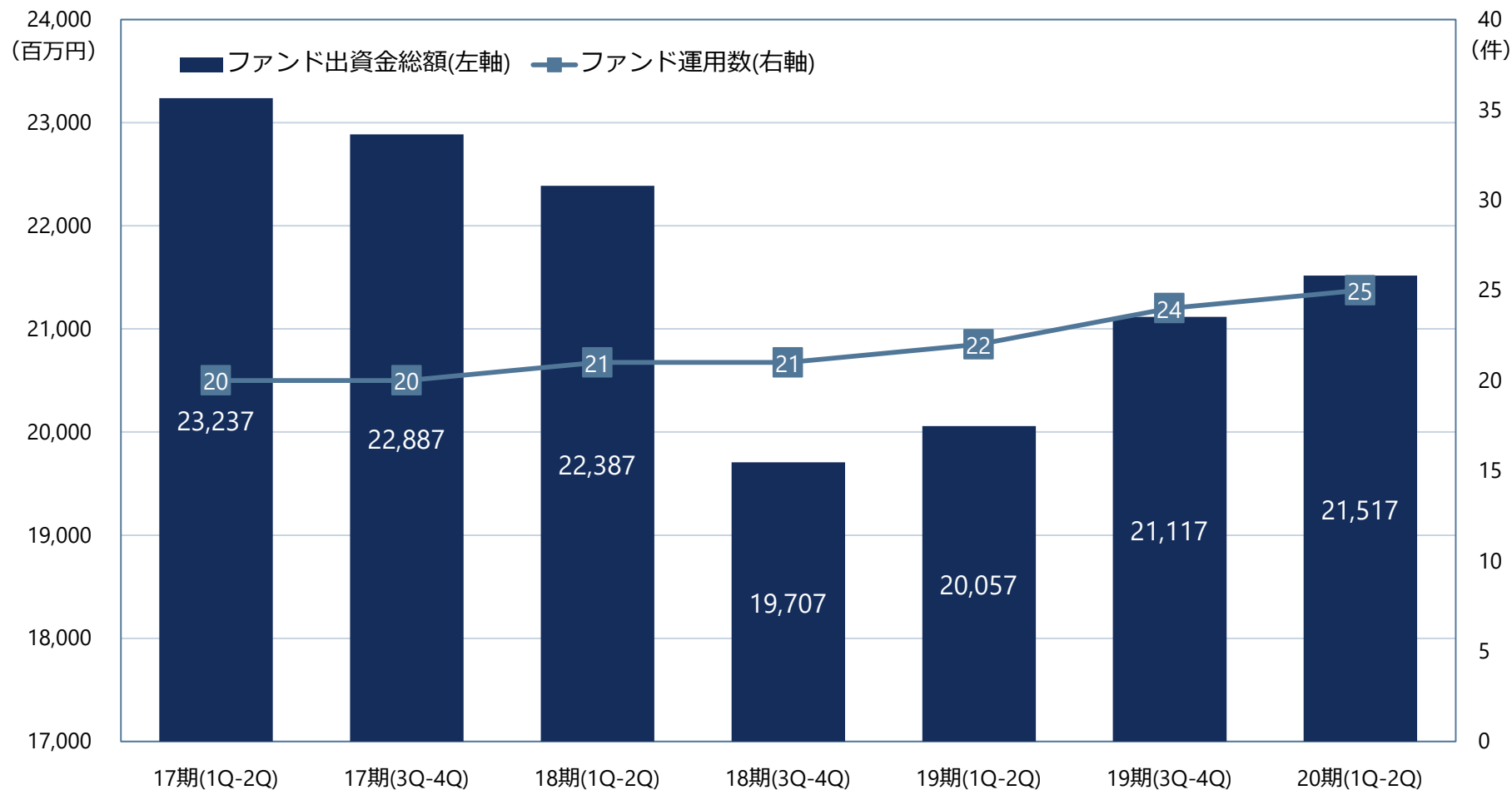
Robot of Everything

所在地	東京都文京区
事業内容	自律移動ロボットテクノロジー事業
資本金	1,295百万円
投資時点株価	20円
株式売却数	600,000株
売却価格	500円
投資倍率	25倍
残株数	1,800,000株
売却損益	298百万円（連結）、156百万円（個別）

子会社数の増加により経費は増加

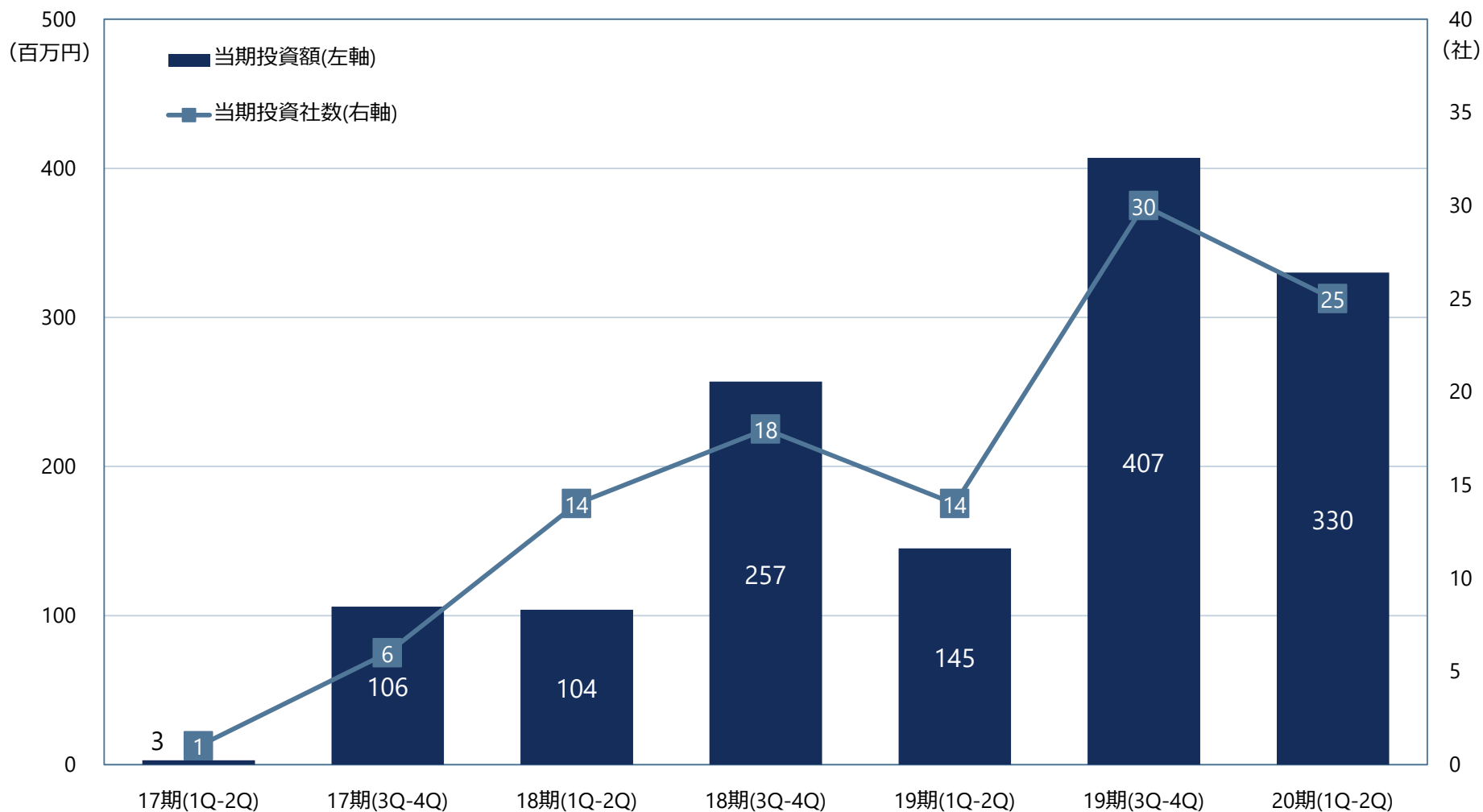


新設ファンド、既存ファンドの追加出資により、 ファンド運用数、出資金総額は増加



※ FVC-EVO Growth Platform Fund Ltd. SPCは除いております。

■ 新設ファンドの増加により、投資社数／額は堅調に推移



主な取り組み



2017年9月

おおさか社会課題解決ファンドの設立

ファンド総額 **500百万円**

- ✓ 社会課題を解決する技術やサービス等を有するベンチャー企業を投資対象としたファンドを大阪信用金庫と共同で設立
- ✓ 当ファンドの活用促進に関する協定を大阪府と大阪信用金庫と締結
- ✓ 大阪信用金庫は2014年に設立した「おおさか創業ファンド」に続く2件目のファンド



「おおさか社会課題解決ファンド活用促進に関する協定」締結式の様子

設立	2017年9月
ファンド総額	500百万円
組合員構成	有限責任組合員：大阪信用金庫 無限責任組合員：FVC
投資対象	大阪府内の社会課題を解決する技術やサービス等を有するベンチャー企業

2017年8月

こうべしんきんステップアップファンドの追加出資

追加出資額 **40百万円**

- ✓ 神戸市周辺地域に本社や拠点を置くベンチャー企業を投資対象としたファンドを神戸信用金庫と共同で2016年に設立
- ✓ 2017～2020年度まで、神戸信用金庫の前年度純利益の約5%を追加出資する「継続出資型ファンド」

2017年10月

トマト創業支援ファンドの設立

- ✓ 原則として岡山県内の創業・第二創業者を投資対象としたファンドをトマト銀行と共同で設立。
- ✓ 株式上場を前提としない創業・第二創業者を投資対象とするファンドの設立は中国地方で初の取り組み。

2017年5月

ウィルグループHRTechファンドの設立

ファンド総額 **1,000百万円**

- ✓ HRTech領域サービスを手掛ける国内外の有望なベンチャー企業を投資対象としたファンドをウィルグループと共同で設立
- ✓ 国内のみならず海外のベンチャー企業にも投資予定
- ✓ ウィルグループは2015年に設立した「ウィルグループインキュベートファンド」に続く2件目のファンド

設立	2017年5月
ファンド総額	1,000百万円
組合員構成	有限責任組合員：株式会社ウィルグループ、無限責任組合員：FVC
投資対象	HRTech領域のサービスを手掛ける国内外の有望なベンチャー企業

2017年7月

FVC-EVO Growth Platform Fund Ltd. SPCの設立

ファンド総額 **20,000百万円**

- ✓ 日本国内の中堅上場企業を投資対象としたファンドをEVOグループと共同で設立
- ✓ FVCの子会社であるFVCPが案件ソーシング・事業支援を担当
- ✓ 国内上場企業向けのファンドはFVC初



Rockies Venture Fund(RVF)の投資先企業数が10社に達する



FVC Americasと米国エンジェル投資家ネットワークRockies Venture Club（RVC）及びRVCの会員と共同でコロラド州のベンチャー企業を投資対象とするRockies Venture Fund（RVF）を2017年3月に設立。**10社のベンチャー企業に投資実行済み。**

設立	2017年3月
ファンド総額	USD4,685,000
組員構成	有限責任組員：36のエンジェル投資家、FVCA Holdings, LLC 無限責任組員：RVF Management I, LLC
投資対象	コロラド州のベンチャー企業

FVC Mesh Fort Collinsの撤退

コロラド州フォートコリンズ市においてコワーキング事業を展開するものの、コワーキング会員数の増加に時間を要する見込みであることから、9月に撤退。

All Nippon Entertainment Works(現 : ANEW)

エンターテインメント業界での新たなファンド組成および日本のコンテンツの海外展開等に取り組むためにANEW社の株式を99.6%取得し、連結子会社化。



所在地	東京都港区虎ノ門4-1-17
事業内容	日本国内コンテンツのハリウッド・リメイクを共同プロデュース
資本金	1,115百万円
株式譲渡実行日	平成29年6月8日



ANEW社の株式譲渡

ANEW社のコスト削減を軸に支援を進め、自主的な経営に一定の目途が立つところまで回復。その後、経営陣によるマネジメントバイアウト（MBO）方式の提案を受けて、環境変化の激しいエンターテインメント業界において、独立性をもった意思決定により事業を進めることがANEW社の発展に有益であると相互判断し、10月31日に全株式を譲渡。

株式会社デジアラホールディングスの株式を取得

新たな事業領域の創出に向け、住環境分野事業を展開しているデジアラ社の株式を取得し、アライアンスを締結。



所在地	神戸市東灘区向洋町6丁目9
事業内容	インターネットを利用した大型住宅設備機器等の販売 など
資本金	99,464,500円
取得株式数	4,080株
株式取得実行日	平成29年9月28日



Future Venture Capital

本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券及び当社が管理運営するファンドへの投資勧誘を目的とするものではありません。また、本資料に掲載されている事項は資料作成時点において入手した情報に基づいたものですが、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。今後、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。